令和元年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

								指定団体等	の指定状況		区分	令和元年度(न	円)	平成30年度(千円)	区分		令和元年度(千円·%)	平成30年度(千円・
	都道府県名	福	島県	市町	「村類型	Ι.	- 0	相定凹体等	切相足认术	歳入総額		14, 002	, 696	16, 901, 471	実質収支比率		28. 4	20.
								財政健全化等	×	歳出総額		11, 921	, 081	16, 042, 134	経常収支比率		84. 8	84.
								財源超過	×	歳入歳出	差引	2, 081	, 615	859, 337	(※1)		(87. 7)	(88. 3
	市町村名	飯	館村	地方交	付税種地	. 2	-1	首都	×	翌年度に	繰越すべき財源	1, 317	, 077	312, 573	標準財政規模		2, 689, 451	2, 674, 72
								近畿	×	実質収支		764	, 538	546, 764	財政力指数		0. 30	0.3
		平成27年国調(中部	×	単年度収	支	217	, 774	-137, 202	公債費負担比率		7. 3	9.
	人口	平成22年国調(人) 6,209		産	業構造 (※5)		過疎	0	積立金			401	264	健全化判断比率			
		增減率 (%)	-99.3					山振	0	繰上償還	金		0	0	実質赤字比率		-	
		令02.01.01(人	5, 467	[2	区分	平成27年国調	平成22年国調	低開発	×	積立金取	崩し額	100	, 000	70, 000	連結実質赤字比率		-	
		うち日本人(人) 5, 420	**	第1次	-	876	指数表選定	×	実質単年	度収支	118	, 175	-206, 938	実質公債費比率		6.0	5.
住月	民基本台帳人口	平31.01.01(人	5, 704	,	F100	-	28. 0								将来負担比率		-	
	(※7)	うち日本人(人) 5,664	**	第2次	-	1, 202			基準財政	収入額	727	, 527	765, 493	資金不足比率 (※4)			
		増減率 (%)	-4. 2	У.	52 <i>0</i> C	-	38. 5			基準財政	需要額	2, 423	. 047	2, 366, 556				
		うち日本人(%) -4.3	4	第3次	-	1, 045			標準税収	入額等	910	, 870	970, 553				
	面積(km)		230. 13	У.	53 <i>/</i> C	-	33. 5			経常経費	充当一般財源等	2, 158	, 682	2, 056, 410				
人口	1密度(人/k㎡)		0							歳入一般	財源等	5, 851	, 640	4, 343, 418				
t	世帯数 (世帯)		1															
				職員	員の状況													
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均									
	运力	上奴	給料月額(百円)	般		ΔЛ	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現	在高	3, 555	, 483	3, 744, 755				
	市区町村長	1	6, 440	職	一般職員	Ę.	64	199, 680	3, 120	うち公	的資金	3, 484	, 777	3, 664, 312				
特	副市区町村長	1	5, 850	員	うちぇ	消防職員	-	_		- 債務負担	行為額 (支出予定額)		-	_				
別 職	教育長	1	5, 580	等	うち打	技能労務職員	-	_		- 収益事業	収入		-	-				
等	議会議長	1	3, 000	*	教育公理	務員	3	9, 024	3, 008	土地開発	基金現在高	476	, 946	476, 895				
	議会副議長	1	2, 510	6	臨時職員	Ą	-	-		-	財政調整基金	1, 842	, 638	1, 642, 237				
	議会議員	8	2, 350		合計		67	208, 704	3, 115	積立金 現在高	減債基金	537	236	537, 082				
				-	ラスパイし	レス指数		u.	100.5		その他特定目的基金	6, 044	, 734	6, 472, 759				
áD-	会計等の一覧		主要	会計の一	_ 账			公営企業(法適) の一覧		公営企業(法非適)の-	- No		関係する一部事務	組合第一覧	地古八社 . 每	第三セクター等一覧	
項番		会計名	項番		<i>F</i> .	会計名		項番	会計名			· 会計名		項番	組合等名	項番	団体名	(%3)
(1)	一般会計		(2)	国民健康	隶保険事業	(事業勘定)					(6) 簡易水道特別会計			(8) 相馬地方広域市	町村圏組合一般会計	(17) (財)飯舘	3村振興公社	
			(3)	介護保険	食事業 (事業	業勘定)					(7) 農業集落排水特別会計	+		(9) 相馬地方広域市	町村圏組合看護専門学校特別会計	(18) 相馬地方	5土地開発公社	
			(4)	介護保険	食事業 (介證	隻サービス)								(10) 福島県市町村総	合事務組合 一般会計	(19) いいたて	までいな再エネ発電㈱	
			(5)	終期宣制	给者医療事 第	*								(11) 短島県市駅村総	合事務組合 消防補價等特別会計	(20) 13134-7	までいな復興㈱	
			(0)	DC /VIII-IBI		-									合事務組合 消防賞じゅつ金特別			
																(21) ㈱までい	ヽ ガーデンビレッジいいたて	
															合事務組合 非常勤職員公務災害			
														(14) 福島県市町村総計	合事務組合 自治会館管理特別会			
														(15) 福島県後期高齢	者医療広域連合 一般会計			
														(16) 福島県後期高齢 特別会計	者医療広域連合 後期高齢者医療			
														(16) 特別会計	CAVINDE II 60 TK			

(注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。 ※6:個人情報保護の親点から、対象となる職員数が1人収は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。 ※7:人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

)状況 (単位 千円				地方税の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分		
地方税	576, 494	4. 1	576, 494		普通税	576, 494	100.0	-		
地方譲与税	72, 667	0.5	72, 667	3.0	法定普通税	576, 494	100.0	-		
利子割交付金	177	0.0	177	0.0	市町村民税	280, 747	48. 7	-		
配当割交付金	838	0.0	838	0.0	個人均等割	9, 122	1.6	-		
株式等譲渡所得割交付金	399	0.0	399	0.0	所得割	190, 302	33. 0	-		
分離課税所得割交付金	-	_	-	_	法人均等割	16, 751	2. 9	-		
地方消費税交付金	98, 000	0.7	98, 000	4. 0	法人税割	64, 572	11. 2			
ゴルフ場利用税交付金	_	_	_	_	固定資産税	260, 976	45. 3	-		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	157, 540	27. 3	-		
自動車取得税交付金	7, 573	0.1	7, 573	0.3	軽自動車税	20, 957	3.6			
軽油引取税交付金	· –	-	· -	-	市町村たばこ税	13, 814	2. 4			
自動車税環境性能割交付金	2, 377	0.0	2, 377	0.1	鉱産税		-			
地方特例交付金等	4, 568	0.0	4, 568	0. 2	特別土地保有税	_	-			
個人住民税減収補塡特例交付金	2, 744	0.0	2, 744	0. 1	法定外普通税	_	_			
自動車税減収補塡特例交付金	1, 021	0.0	1, 021	0.0	目的税	_	_			
軽自動車税減収補塡特例交付金	167	0.0	167	0.0	法定目的税	_	_			
子ども・子育て支援臨時交付金	636	0.0	636	0.0	入湯税	_	_			
地方交付税	4, 222, 413	30. 2	1, 693, 386	68. 8	事業所税	_	_			
普通交付税	1, 693, 386	12. 1	1, 693, 386	68. 8	都市計画税	_	_			
特別交付税	216, 240	1.5		-	水利地益税等	_	_			
震災復興特別交付税	2, 312, 787	16. 5	_	_	法定外目的税	_	_			
(一般財源計)	4, 985, 506	35. 6	2, 456, 479	99.8	旧法による税	_	_			
交通安全対策特別交付金	731	0.0	731	0.0	合計	576, 494	100.0			
分担金・負担金	3, 508	0.0	701			070, 101	100.0			
使用料	32, 311	0. 0	2. 968	0. 1						
手数料	6, 087	0. 2	2, 300	0.1	区分	令和元年度		平成30年度		
国庫支出金	3, 976, 710	28. 4	_	_		98.9	98. 7	100.0 99.3		
国库文山亚 国有提供交付金(特別区財調交付金)	3, 370, 710	20.4			倒収率 現 → → → → → → → → → → → → → → → → → →	97. 8	97. 8	100.0 98.8		
割有提供文刊並(特別区別調文刊並) 都道府県支出金	1. 793. 375	12. 8		_	(%) 年	100.0	99.6	100.0 99.3		
財産収入	119, 603	0.9	_			100.0	99.0	100.0 99.3		
財産収入 寄附金	66, 317	0.9	_	_	公営事業等への繰出		1. 口吟古坐	会計の状況		
^{舒刚並} 繰入金	2, 027, 125	14. 5	_	_	会計 名名事業等への標面 合計 802,704		求体陕争未			
候人並 繰越金	559, 337	4.0	_	_	簡易水道 292,657			121, 223		
			9	0.0						
諸収入 地方債	201, 591	1.4	9	0. 0	下水道 233, 186)	1, 038		
	230, 495	1.6	-	_	上水道	一被保険者数(人)	544 / M/ \ III	1, 948		
うち減収補塡債(特例分)	05 105	0.0	-	_	工業用水道		€税(料)収 <i>。</i>			
うち臨時財政対策債	85, 195	0.6	0 400 407	100.0	国民健康保険 92,574		支出金	77		
歳入合計	14, 002, 696	100.0	2, 460, 187	100.0	その他 184, 287	'^' (保険	給付費	393		

(汪粎)	

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

Bin 別職出の状況、「単位 千円・96		歳出の)状況(単	位 千円・%)			
議会費 2、992、914 25.1 8.6 511 0.6 6 511 903、459 14.808		目的別歳	出の状況	(単位 千円・%)			
議会費	区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通弾	設事業費	(A)のうち充	当一般財源等
総務費		66, 511	0.6		-		
民生費 簡生費 新働費 1,030,157 578,974 4.9 8.6 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0		2, 992, 914	25. 1		553. 707		
#生費 360 0.0 0.0 360 14.808 373.599 380 370.599 380					-		
労働費 3, 762、297 31.6 1,685、718 654、472 1,748 434,915 115,136 134,886 教育費 175、775 1.5 43,49.15 115,136 134,886 教育費 437,908 3.7 9,171 353,665 次害権旧費 224、045 1.9 - 72、302 公債費 427,750 3.6 10.0 2,976,120 3,770,025 11,921、081 10.0 2,976,120 3,770,025 12,134,886 13,40 13,0 1,342,233 1,137,521 44.7 人件費 885,948 427,750 3.6 62,27 5.0 58數員給 222、04、64 7.7 5.0 58數員給 231,890 1.9 59,615 56,899 22.2 公債費 427,750 3.6 427,750 427,750 16.8 427,750 3.6 427,750 427,750 16.8 427,750 3.6 427,750 427,750 16.8 427,750 3.6 427,750 427,750 16.8 427,748 427,748 427,748 16.8 19,551,342 427,748 427,748 16.8 19,551,342 427,748 427,748 16.8 19,551,342 427,748 16.9 619,384 352,440 13.8 48持補修費 1,331,658 11.2 7,494 15,269 0.6 13,346,544 13.6 54 13.3 65 27,494 15,269 0.6 13,346,544 13.3 66 27,256 12.6 51,666 15,269 32 14,39,655 12.6 51,666 15,269 32 14,39,655 12.6 51,666 15,269 32 14,39,655 12.6 51,666 15,269 32 14,39,655 12.6 51,666 15,666 15,56,899 33 197,041 7.7 61,55 29 10,00 1.1 51,331,658 11.2 7,494 15,269 0.6 67 526,932 346,544 13.6 67 526,932 346,544					14 909		
農林水産業費 商工費 3,762,297 31.6 1,685,718 654,472 商工費 469,484 3.9 234,256 88,844 土木費 1,754,906 14.7 434,915 115,136 消防費 175,775 1.5 43,545 134,886 数育費 224,045 1.9 9,171 353,665 災害復旧費 224,045 1.9 427,750 356,665 談事費 427,750 3.6 - - - - 前年度線上充用金 11,921,081 100.0 2,976,120 3,770,025 養務的経費計 1,545,387 13.0 1,342,323 1,137,521 44.7 人件費 885,747 7.4 854,958 652,872 25.6 決助費 231,890 1.9 59,615 56,899 2.2 公債費 427,748 3.6 427,750 427,750 44.7 大助費 231,890 1.9 59,615 56,899 2.2 2 公債費 427,748 3.6 427,748 427,750 419,767 419,767 16.5 652,872 2.0 2 市市量 2,010,478 3.6 427,748 427,750 419,767 419,767 419,767 16.5					14, 000		
商工費 469, 484 3.9 234, 256 88, 844 1.754, 906 114.7 115.736 434, 915 115, 136 88, 844 1.754, 906 114.7 115.775 1.5 43, 545 134, 886 教育費 437, 908 3.7 9, 171 353, 665 72, 302 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15支出金 11, 921, 081 100.0 2, 976, 120 3, 770, 025 15 15, 549 15, 554 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 15, 554 154 154 154 154 154 154 154 154 154					1 605 710		
上大費							
消防費							
教育費							
災害復旧費 224,045 1.9 - - 72,302 247,750 427,750 427,750 427,750 - - - - - - - - - - - - <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>							
公債費 427,750 3.6 - - 427,750 3.6 11,921,081 100.0 2,976,120 3,770,025 11,921,081 100.0 2,976,120 3,770,025 11,921,081 13.0 13.0 13.7,521 44.7 7.4 854,958 652,872 25.6 558,879 2.2 2.5 6.8 652,872 2.5 6.8 652,872 2.5 6.8					9, 171		
諸支出金 前年度繰上充用金 歳出合計 11,921,081 100.0 2,976,120 3,770,025 性質別歳出の状況 (単位 千円・%) 区分 決算額 構成比 充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収支比率 義務的経費計 1,545,387 13.0 1,342,323 1,137,521 44.7 人件費 885,747 7.4 854,958 652,872 25.6 方ち職員給 595,928 5.0 569,208 427,750 427,750 16.8 大助費 231,890 1.9 59,615 56.899 2.2 公債費 427,760 3.6 427,750 427,750 16.8 内 うち元金 419,767 3.5 419,767 419,767 16.5 ア うち利子 7,981 0.1 7,981 7,981 7,981 0.3 一時借入金利子 7,981 0.1 7,981 7,981 0.3 一時借入金利子 2 0.0 2 2 2 0.0 その他の経費 7,175,529 60.2 1,800,446 1,021,161 40.1 物件費 2,010,478 16.9 619,384 352,440 13.8 維持補修費 1,331,658 11.2 77,494 15,269 0.6 補助費等 1,398,634 11.7 524,970 366,908 12.1 うち一部事務組合負担金 繰出金 精力金 1,499,655 12.6 51,666	災害復旧費	224, 045			-		
Test	公債費	427, 750	3.6		-		427, 750
大学額	諸支出金	_	-		-		-
性質別蔵出の状況 (単位 千円・96) 接常経費充当一般財源等 経常収支比率 養務的経費計	前年度繰上充用金	_	-		-		-
性質別蔵出の状況 (単位 千円・96) 接常経費充当一般財源等 経常収支比率 養務的経費計	歳出合計	11, 921, 081	100.0	:	2. 976. 120		3, 770, 025
交換機器		, ,					, ,
交換機器		性質別歳	出の状況	(単位 千円・%)			
1,545,387	区分			充当一般財源等	経常経費充当	一般財源等	経常収支比率
大仲費		1, 545, 387		1. 342. 323			44.7
大助費							
扶助費						- 002, 072	20. 0
公債費						56 800	2.2
元利償還金							
内 記 司 うち和子 一時借入金利子 419,767 7,981 2 2 0.0 2 2 0.0 2 2 2 0.0 2 2 2 2 0.0 2 2 2 2							
R							
一時情入金利子							
その他の経費 7,175,529 60.2 1,800,446 1,021,161 40.1							
物件費 維持補修費 補助費等 うち一部事務組合負担金 繰出金 積立金 投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 うち人件費 ラち人件費 ラち人件費 ラち人件費 ラち人件費 ラちろ 東資・記録事業費 クする ののののののののののののののののののののののののののののののののののの							
#維持補修費							
補助費等							
5ち一部事務組合負担金 繰出金 積立金 資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 一方も構助 うち単独 災害復旧事業費 大学対策事業費 大学対策事業費	維持補修費		11. 2			15, 269	0. 6
繰出金 積立金 力容・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 の方と補助 の方と単独 災害復旧事業費 失業対策事業費		1, 398, 634	11.7	524, 970		306, 908	12. 1
横立金 投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 コープ・ファイト	うち一部事務組合負担金	201, 093	1.7	198, 993		197, 041	7. 7
投資・出資金・貸付金	繰出金	802, 704	6.7	526, 932		346, 544	13. 6
投資・出資金・貸付金	積立金	1, 499, 655	12.6	51, 666		-	-
前年度繰上充用金 投資的経費計 3,200,165 26.8 うち人件費 27,097 0.2 27,097 普通建設事業費 2,976,120 25.0 554,954 うち補助 2,398,505 20.1 439,943 うち単独 513,242 4.3 50,638 災害復旧事業費 失業対策事業費 224,045 1.9 72,302				-		_	_
投資的経費計 うち人件費 一方人件費 フラカ人件費 フラカイトで 内 記 以客復旧事業費 大学対策事業費 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記 の表記		-	_	_			
うち人件費 27,097 0.2 27,097 首通建設事業費 2,976,120 25.0 554,954 うち補助 2,398,505 20.1 439,943 うち単独 513,242 4.3 50,638 失業対策事業費 224,045 1.9 72,302		3 200 165	26.8	627 256			
普通建設事業費 うち補助 うち単独 災害復旧事業費 失業対策事業費 2,976,120 2,398,505 513,242 4.3 513,242 4.3 513,242 4.3 72,302 							
内 訳 設審復旧事業費 失業対策事業費 2,398,505 513,242 224,045 1.9 72,302 - 20.1 4.3 50,638 72,302 - 439,943 50,638 72,302 -							
グ うち単独 災害復旧事業費							
次善度旧事業育							
	災害復旧事業質	224, 045	1.9	72, 302			
献出台計		- 11 001 001	100.0	0 770 005			
	成田百計	11, 921, 081	100.0	3, 770, 025			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
一般会計	14,003	11,921	2,082	765		3,555		1
2								1
3								1
4								1
5								1
6								1
7								1
3								1
9								1
0								1
1								1
2								1
3								1
4								1
5								1
6								実
+ 一般会計等(純計)				765				

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考	
1 国民健康保険事業(事業勘定)	1,234	1,113	121	121	93	-	-	-		
2 介護保険事業(事業勘定)	1,088	1,011	77	77	167	-	-	-		
3 介護保険事業(介護サービス)	6	6	0	-	0	-	-	-		
4 後期高齢者医療事業	27	27	0	0	22	-	-	-		
5 簡易水道特別会計	326	312	14	14	293	551	543	-	法非適用企業	
6 農業集落排水特別会計	332	201	131	131	233	151	137	-	法非適用企業	
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結
計 公営企業会計等				344						

関	関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)										
	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考		
1	相馬地方広域市町村圏組合一般会計	1,561	1,498	63	63	0	71	0			
2	相馬地方広域市町村圏組合看護専門学校特別会計	270	250	20	20	0	41	0			
3	福島県市町村総合事務組合 一般会計	7,032	6,827	205	0	15	-	-			
4	福島県市町村総合事務組合 消防補償等特別会計	1,625	1,624	1	0	0	-	-			
5	福島県市町村総合事務組合 消防賞じゅつ金特別会計	1	0	1	0	0	-	-			
6	福島県市町村総合事務組合 非常勤職員公務災害補價特別会計	65	53	12	0	0	-	-			
7	福島県市町村総合事務組合 自治会館管理特別会計	30	26	4	0	0	-	-			
8	福島県後期高齢者医療広域連合 一般会計	899	853	46	46	0	-	-			
9	福島県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療特別会計	255,217	243,412	11,805	11,805	646	-	-			
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20			·								
計	一部事務組合等				·						

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

令和元年度

平成29年度 平成30年度 令和元年度 分母比

595,393

171,003

650,528

190,739

543,203

137,076

23.4

5.9

福島県飯舘村

備考

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	正味財産	からの 出資金	からの 補助金	からの 貸付金	の債務保証に係る債務残高	の損失補債に係る債務残高	負担見込額	備考
1	(財)飯舘村振興公社	81		80	0	0				
2	相馬地方土地開発公社		13	2	0					
3	いいたてまでいな再エネ発電㈱	197	4,486	40	0					-
4	いいたてまでいな復興㈱	6		25 40	0					-
5 6	㈱までいガーデンビレッジいいたて	4	43	40	U	0				
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15 16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25	1									
26 27										
28										
29										
30	<u> </u>									
31										
32										
33										
34										
35										
36 37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46 47										-
48										-
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
56 57 58										
59 60 61										
61										
62										
63								,		
64										
65	1									
66 67										
68	+									
69										
69 70	<u> </u>									
71										
72										
73				-	-		-			
74										
75										
76										
77 78										
78										
80 81 82										
82										

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。 ※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、〇印を付与している。

PFI事業に係るもの

いわゆる五省協定等に係るもの

国営土地改良事業に係るもの

行 社会福祉法人の施設建設費に係るもの

引き受けた債務の履行に係るもの

簡易水道特別会計

企業債等 繰入見込額 介護保険事業(介護サービス)

農業集落排水特別会計

介護保険事業(事業勘定) その他の会計

地方道路公社に係る将来負担額 土地開発公社に係る将来負担額 公社・ 三セク等 地方独立行政法人に係る将来負担額

その他第三セクター等に係る将来負担額

その他上記に準ずるもの

損失補償・債務保証の履行に係るもの

内訳

将来負担比率 (千円・%)

153.1

401.6

130.6

平成29年度 平成30年度 令和元年度 分母比

766,396

1,472

428,836

4,941,459

3,744,755 3,555,483

680,279

344,986

4,581,489

741

3,900,784

841,267

2,194

477,063

(E) 5,221,308

公債	責負担の状況						将来負担の	状況		
	実質公債費比率	下) 革	円・%)							
	区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比		-	分	
元利	償還金		410,123	395,816	427,748	18.4	将来負担額	一般会計等に係	系る地方債の現在	高
減債	基金積立不足算定額		-	-	-	-		債務負担行為(に基づく支出予定額	Ą
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-		公営企業債等網	朵入見込額	
売	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		86,376	86,633	82,398	3.5		組合等負担等身	見込額	
利償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金	等	1,897	748	748	0.0		退職手当負担身	記額	
還	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)		-	-	-	-		設立法人等の負	負債額等負担見込	額
金	一時借入金の利子		-	49	-	-		うち、健全化法施行	〒規則附則第三条に係	る負担
	合計	(A)	498,396	483,246	510,894		ĺ	連結実質赤字額	Ą	
	内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比		組合等連結実質	5赤字額負担見込	額
	PFI事業に係るもの		-	-	-	-		合計		
	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-	充当可能	充当可能基金		
債	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係	るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定前		
務	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-		基準財政需要額	質算入見込額	
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-		合計		
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-	将来負担比	率((E)-(F))/((C)-(D)) × 100	
為	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-				
	その他上記に準ずるもの		-	-	-	-				
	利子補給に係るもの		-	-	-	-	健	全化判断比率	令和元年度	早
特定	別源の額	(B)	-	-	-		実質	赤字比率		
標準	財政規模	(C)	2,663,868	2,674,728	2,689,451		連結	実質赤字比率	-	
算入	公債費等の額	(D)	357,592	345,497	366,685		実質	公債費比率	6.0	
	(0	C)-(D)	2,306,276	2,329,231	2,322,766		将来	負担比率	-	
実質	「公債費比率 (単	年度)	6.1	5.9	6.2					1
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年平均)	6.1	5.9	6.0		İ			

		H H I			,	,	, ,	, ,	۔ ا
-	充当可能	充当可能基金			8,693	,954	9,555,675	9,328,377	
-	財源等	充当可能特定点	 表入			-	-	-	
-		基準財政需要額	領算入見込額		3,266	,994	3,165,549	3,032,523	
-		合計		(F)	11,960	,948	12,721,224	12,360,900	_
-	将来負担比	率((E)-(F))/($((C)-(D)) \times 100$			-	-	-	
-									
-									
-	健	全化判断比率	令和元年度	早期健全	化基準	財政	改再生基準		
	実質	赤字比率	-		15.00		20.00		
1	連結	実質赤字比率	-		20.00		30.00		
1	実質	公債費比率	6.0		25.0		35.0		
1	将来	負担比率	-		350.0				
$\overline{}$									

うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人(R2.1.1現在) 実 賞 赤 字 比 率 うち日本人 5, 420 人(R2.1.1現在) 連結実質赤字比率 96 230, 13 実 質 公 債 費 比 率 14, 002, 696 λ 千円 将来負担比率 # 4 11, 921, 081 千円 ж H27 I-O H28 I-O H29 I-O 黄収 764 538 千四 H30 I - 0R01 I - O 2, 689, 451 细激财政组织 千円 3, 555, 483 千円

● 当該団体値
● 類似団体内平均値
■ 類似団体内の
■ 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

206,790

428,385

1.510.312

R01

H30

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力 財政力指数 [0.30] 2.00 1.67 1.00 0.50 0.30 0.17 0.18 0.18 0.18 H27 H28 H29 H30 R01

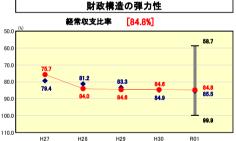
類似団体内順位 全国平均 福島県平均 17/151 0.51 0.48

財政力指数の分析欄

財政力指数はほぼ横ばいの傾向であり、令和元年度は平成30年度と同 数の

0.30であった。

本村は、類似団体と比較して財政基盤が弱いため、一部を除いて避難解除となり、一部課税も再開していることから、引き続き歳入の確保に努める。



人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [765,043円]

300,000

600.000

900,000

1 200 000

1.500.000

1 800 000

H27

H28

類似団体内類位 全国平均 福島県平均 57/151 93.6 90.0

経常収支比率の分析機

経常収支比率は「84.8%」となり前年度より0.2ポイント増加した。 本数値となる要因として、経常一般財源においては、132、257千円の 増加(主に、減免が終了したことにより地方税の増、また地方交付税の増 となり、また、経常経費充当一般財源においては、102,272千円の増加 (主に特別会計への繰出金の増、公債費の増、任期付職員数増に伴う人 供書の増)となった。

算定上の分子にあたる経常経費充当一般財源と共に、算定上の分母に あたる経常一般財源総額もあわせて増加し、算定上の、2ポイントの増加と なっている。



深昇観は削牛度と比較して117、617十円の増となった。 物件費の総額は防犯巡回パトロール業務、復興までい寄付金事務手数 料等事業経費が減少した半面、伐採支障木処理業務等事業経費が増加し、 前年度に比べ1、039千円(0.1%)の増*となった。また*、任期付職員数増 に伴い、人件費の総額は前年度に比べ89、168千円(11.1%)の増と なっている。

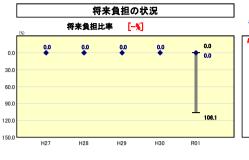
前年度と比較しても復旧復興に係る経費は未だに多く、類似団体と比較 すると平均を大きく上回っている状況にあるため、今後もコスト削減を図る 必要がある。

令和元年度

福島県飯舘村

福島県平均

福島県平均



類似団体内類位 全国平均 1/151 27.4

来負担比率の分析欄

昨年度に引き続き、「将来負担額」に対して「充当可能財源等」が上回り、 算定上の分子がマイナスとなったため、将来負担比率は算定されないこと となった。

これは、公共施設等整備基金の取崩し等「充当可能基金」が227, 298 千円の減となったものの、将来負担額の地方債現在高が189, 272千円 減、公営企業債等繰入見込み額が86, 117千円減となったことが主な要 因である。



H29

H30

R01

8万/101 変質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は「6.0%」となり0.1ポイント増加した。

全国平均

要因としては、算定上の分母は、普通交付税が92,323千円増加したものの、標準税収入額等や臨時財政対策債発行可能額が77,600千円と減少し、さらに基準財政需要額に算入された控除額が21,188千円増額したことにより減少。

また算定上の分子は、事業費補正算入や災害復旧費など基準財政需要 額に算入された額が21,188千円増加、更に元利償還金が31,932千 円増加したことにより増加したことが主な要因である。



類似団体内順位 全国平均 福島県平均 8/151 8.03 8.10

人口1,000人当たり職員数の分析欄

令和元年度は前年度と比較して0.34人の増となった。

人口千人当たり職員数は、12.26人と類似団体と比べ10.1人少ない 状況であるが、原子力災害の影響もあり、帰村後の人口推計を見通すこと が難しいことから、正規職員の増員は引き続き難しい状況にある。 しかし、震災後の対応にかかる職員不足の面もあり、適正な職員配置に

ついても引き続き検討していく。



類似団体内膜位 全国市平均 全国町村平均 150/151 98.9 96.4

ラスパイレス指数の分析標

令和元年度は昨年度と比較して0.7ポイントの減となった。

要因としては、一般行政職に占める、課長、係長相当職在職者割合や、 経験年数階層の変動などによるものである。

※今年度数値が未公表であるため、前年度数値を引用しています。

30.0

H27

H28

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

福島県飯舘村

福島県平均

福島県平均

75 2

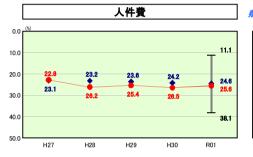
11.8

経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似团体内順位 87/151 人件曹の分析機

前年度は開園した認定こども園の職員採用により増加してい たが、令和元年度は前年度と比較して0.9ポイントの減少と なっている。

25.6

全国平均

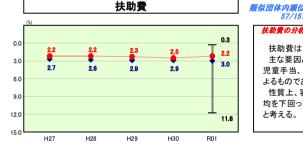
福島県平均

福島県平均

148

232

震災後の対応にかかる職員不足の面もあり、適正な職員配置 についても引き続き検討していきながらも、飯舘村自立計画(新 たな出発プラン)等に基づき、人件費抑制を図る必要がある。

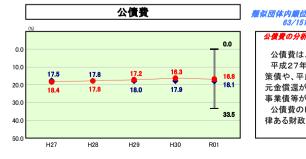


扶助費の分析欄

扶助費は、昨年度と比較して0.3ポイントの減少となった。 主な要因としては在宅サービス提供加算費等が増加した反面、 児童手当、自立支援居住系サービス給付費等が減少したことに よるものである。

全国平均

性質上、容易に削減、圧縮できない経費である。類似団体平 均を下回っているものの、給付の適正化を検討する必要がある と考える。



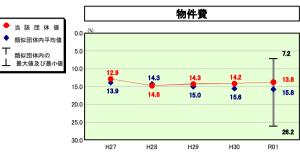
63/151 公債費の分析機

公債費は、昨年度と比較して0.5ポイント増加となった。

全国平均

平成27年度に借入した公民館建替建設事業債、臨時財政対 策債や、平成28年度借入の公共土木施設災害復旧事業債の 元金償還が始まったため、過疎債、臨時財政対策債、災害復旧 事業債等が増加したことによるものである。

公債費のピークは越えた現在は減少傾向にあり、引き続き規 律ある財政運営に努める。



類似団体内順位

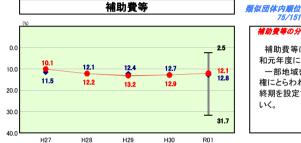
全国平均

福島県平均

物件費の分析網

物件費は昨年度と比較して0.4ポイント減少となった。 現状、物件費においては復旧・復興事業に伴う業者への業務 委託が多い状況にある。

引き続き、経常経費の削減取り組みや事務事業の見直し等に より、抑制を図りたい。

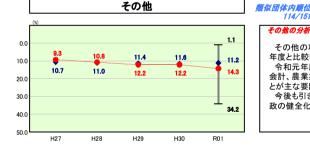


75/151 補助費等の分析欄

補助費等は、昨年度と比較して0.6ポイントの減少となり、令 和元年度においては類似団体の平均を下回る結果となった。

全国平均

一部地域を除いて避難指示解除となったことから、今後も既得 権にとらわれることなく、事業の必要性・優先度などの再点検、 終期を設定するなど、補助金・負担金の整理、合理化を図って いく。



その他の分析機

その他の項目としては主に操出金と維持補修費であるが、昨 年度と比較し、2. 1ポイントの増となっている。

令和元年度は特に復興・復旧事業に伴う簡易水道事業特別 会計、農業集落排水事業特別会計への操出金額が増加したこ とが主な要因である。

今後も引き続き、将来を見通した上で事業執行を行うなど、財 政の健全化を図る。

全国平均



66/151 公信誉以外の分析機

公債費以外の経費で見てみると昨年度と比較し、0.3ポイント の減少となっている。今後とも人件費や物件費等の抑制等を図 る必要がある。

類似団体内の

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析

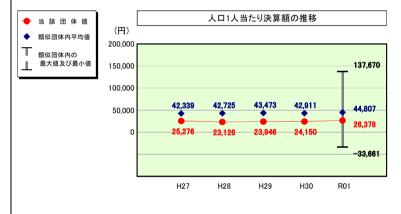


人件費及び人件費に準ずる費用				
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	Ą
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	885, 747	162, 017	198, 046	▲ 18. 2
賃金(物件費)	123, 389	22, 570	23, 470	▲ 3.8
一部事務組合負担金(補助費等)	104, 547	19, 123	31, 217	▲ 38.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	=	3, 147	_
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	=		_
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	58, 825	10, 760	10, 757	0.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	27, 097	4, 956	4, 810	3. 0
▲退職金	▲ 72, 492	▲ 13, 260	▲ 18, 847	▲ 29.6
<u>수</u> 計	1 127 113	206 167	252 500	▲ 18 /

類似団体平均 対比(差引) 人口1,000人当たり職員数(人) **▲** 10.10 ラスパイレス指数 100.5 4. 9

(注)人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

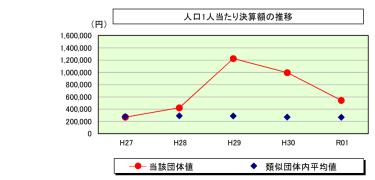


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	427, 748	78, 242	139, 617	▲ 44.0
(繰上償還額等を除く)	727, 770	70, 242	100, 017	4 44. 0
積立不足額を考慮して算定した額	_	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの		_	5	_
(年度割相当額)			3	
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に	82, 398	15, 072	32, 699	▲ 53.9
充てたと認められる繰入金	02, 390	13, 072	32, 033	▲ 33. 9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる	748	137	4, 068	▲ 96.6
補助金又は負担金	740	107	4, 000	▲ 90.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-		1, 263	-
一時借入金利子	_	_	23	_
(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)			20	
▲特定財源の額	-	1	▲ 8, 148	1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として	▲ 366, 685	▲ 67, 072	▲ 124, 721	▲ 46. 2
普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	a 300, 003	▲ 07,072	▲ 124, 721	▲ 40. Z
승計	144, 209	26, 378		▲ 41.1

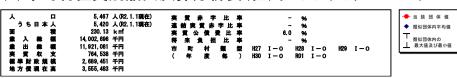
※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

		当該団体決算額		J	、口1人当たり決算額	Į.	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H27		1, 695, 089	271, 214	132. 3	280, 458	59. 6	72. 7 101. 6
	うち単独分	260, 019	41, 603	146. 7	127, 286	45. 1	101. 6
H28		2, 594, 498	423, 384	56. 1	291, 945	4. 1	52. 0 65. 1
	うち単独分	421, 596	68, 798	65. 4	127, 651	0. 3	
H29		7, 201, 897	1, 224, 812	189. 3	291, 173	▲ 0.3	189. 6
	うち単独分	794, 199	135, 068	96. 3	119, 071	▲ 6. 7	103. 0
H30		5, 686, 166	996, 873	▲ 18.6	271, 581	▲ 6. 7	▲ 11.9
	うち単独分	381, 303	66, 848	▲ 50. 5	117, 844	▲ 1.0	▲ 49.5
R01		2, 976, 120	544, 379	▲ 45. 4	268, 375	▲ 1.2	▲ 44. 2
	うち単独分	513, 242	93, 880	40. 4	119, 602	1.5	38. 9
過去5年間平均		4, 030, 754	692, 132	62. 7	280, 706	11.1	51. 6
	うち単独分	474, 072	81, 239	59. 7	122, 291	7. 8	51.9



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各部道府県平均は、全和元年度決策の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別慮出の分析機

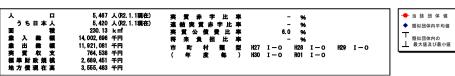
歳出決算総額で見ると、住民一人当たり2,181千円となっている。

主な構成項目である普通建設事業費は住民一人当たり544千円、物件費は368千円、積立金は274千円、維持補修費は244千円となり、

原子力発電所の事故に伴い全村避難して復旧・復興事業が増加していることから、いずれも類似団体平均と比べて高い水準にある。

今後、復旧・復興事業が進めば普通建設事業費等の投資的経費は減少していく見込みであるが、その分建てた施設を維持するための物件費や

維持補修費の増加が見込まれるため、より一層の経費削減に努め、健全財政を維持していかなければならない。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各部道府県平均は、全和元年度決策の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別農出の分析標

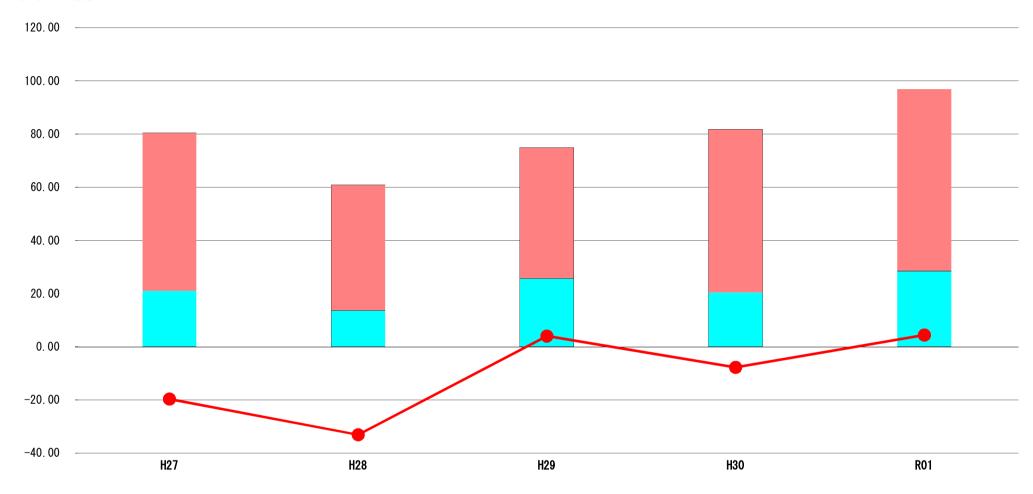
目的別にみると農林水産業費が一人当たり688千円と、類似団体と比較しても高い水準となっており、次いで総務費が547千円、土木費が321千円となっている。 特に農林水産業においては令和元年度に被災地域農業復興総合支援事業。ため池放射線対策工事費、農業用用排水路保全工事費、農業用用排水路整備工事費等の増加が主な要因である。 今後、復旧・復興事業が進めば各目的別費用のの普通建設事業費等は減少していく見込みである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

令和元年度

福島県飯舘村

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分 年度	H27	H28	H29	H30	R01
財政調整基金残高	59. 48	47. 25	49. 25	61. 40	68. 51
実質収支額	21.00	13. 61	25. 68	20. 44	28. 43
実質単年度収支	▲ 19.65	▲ 33.16	4. 00	▲ 7.74	4. 39

分析欄

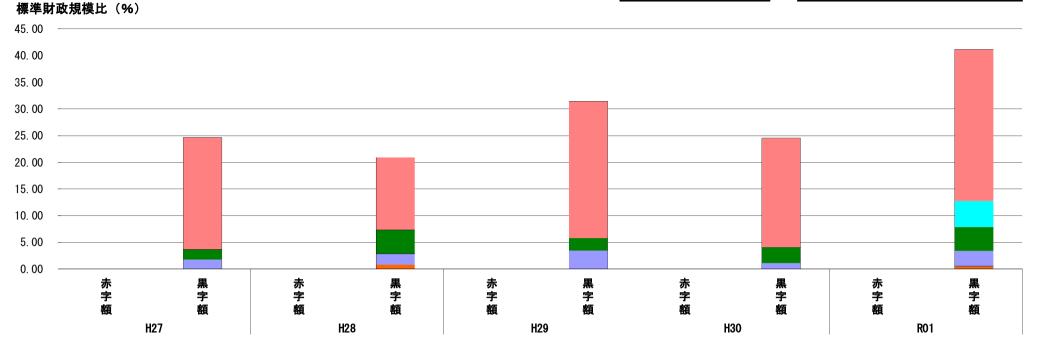
実質収支額は28.43となり、前年度と比較して7.99ポイントの増である。また、実質単年度収支は4.39となり、12.13ポイントの増となった。

震災以降標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合は上 昇傾向であるが、復興創生期間以降の財源の見通しが立たない ことから、財政調整基金を財源として確保しつつ健全な行財政 運営に努めていく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

令和元年度

福島県飯舘村



標準財政規模比(%)

年度 会計	H27	H28	H29	H30	R01
一般会計	21. 00	13. 61	25. 67	20. 44	28. 42
農業集落排水特別会計	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	4. 85
国民健康保険事業(事業勘定)	1. 88	4. 44	2. 34	2. 97	4. 50
介護保険事業(事業勘定)	1. 76	2. 04	3. 44	1. 10	2. 87
簡易水道特別会計	0. 01	0. 83	0. 01	0. 01	0. 52
後期高齢者医療事業	0. 00	0. 00	0. 00	0. 01	0.00
介護保険事業(介護サービス)	-	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他会計 (赤字)	-	-	-	-	-
その他会計(黒字)	0. 00	-	-	-	-

分析欄

標準財政規模比で令和元年度決算は、一般会計においては赤字額の会計は皆無である。また、黒字額については、震災以降大きく増加していたが、昨年と比較しても令和元年度は増加している。

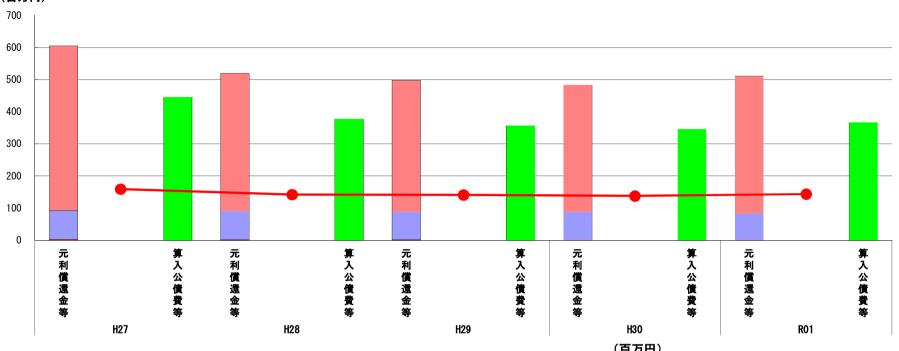
令和元年度は一般会計において、減免措置終了により村民税の徴収が始まり、また業績好調により法人税の徴収額が増加している。また、簡易水道特別会計、農業集落排水特別会計ともに、使用料の徴収が始まっていることから、復興事業の実施により歳出決算額は引き続き数値で推移しているものの、収入額が前年度よりも増加していることが主な要因である。また、前年度と比較して普通交付税及び特別交付税額が増額していることも要因となっている。

(9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

令和元年度

福島県飯舘村





						(ロハロ/
分子の構造	年度	H27	H28	H29	H30	R01
	元利償還金	513	429	410	396	428
元利償還金等(A)	減債基金積立不足算定額※2	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	_
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	89	89	86	87	82
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	3	2	2	1	1
	債務負担行為に基づく支出額	-	-	-	-	-
	一時借入金の利子	-	0	-	0	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	446	378	357	346	367
(A) - (B)	── 実質公債費比率の分子	159	142	141	138	144

分析欄

算定上の分子においては、事業費補正算入 や災害復旧費等など基準財政需要額に算入さ れた額は増加したが、元利償還金においては 平成27年度に借入した公民館建替建設事業、 同年度借入の臨時財政対策債や平成28年度 借入の公共土木施設災害復旧事業の元金償還 が始まったため、増加していることから、前 年度と比較して約6百万円増加し、分子は約 144百万円となっている。

※1 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(百万円) (糸老)

(34)	年度	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
※2 減債基金	減債基金残高 (注)	-	-	-	-	-
積立状況等	減債基金積立相当額	-	-	-	-	-

分析欄

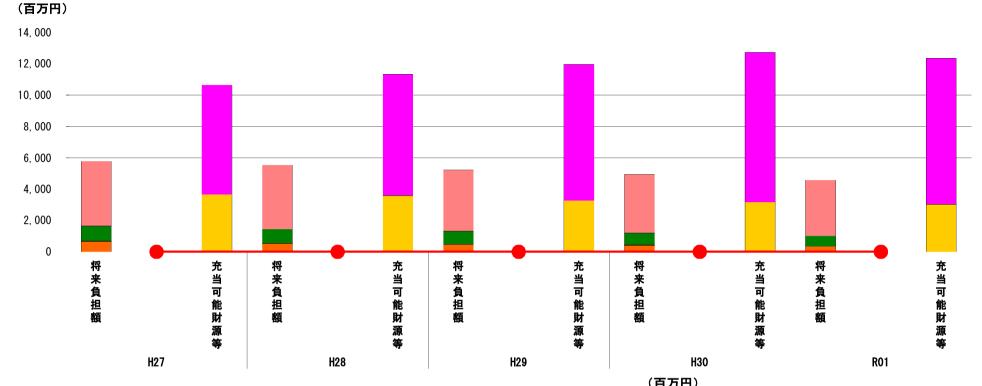
満期一括償還地方債は利用していない。

(注)減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。 減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

令和元年度

福島県飯舘村



							(ロクロ)
分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
		一般会計等に係る地方債の現在高	4, 130	4, 085	3, 901	3, 745	3, 555
		債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	-	_	-
		公営企業債等繰入見込額	979	911	841	766	680
		組合等負担等見込額	6	4	2	1	1
将来負担額(A)		退職手当負担見込額	671	544	477	429	345
		設立法人等の負債額等負担見込額	-	_	-	_	_
		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	_	-	_	_
		連結実質赤字額	-	_	-	_	_
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	_	-	_	_
		充当可能基金	6, 993	7, 758	8, 694	9, 556	9, 328
充当可能財源等(B)		充当可能特定歳入	-	_	-	_	-
		基準財政需要額算入見込額	3, 665	3, 587	3, 267	3, 166	3, 033
(A) - (B)	-	将来負担比率の分子	▲ 4,872	▲ 5, 801	▲ 6, 740	▲ 7, 780	▲ 7, 779

分析欄

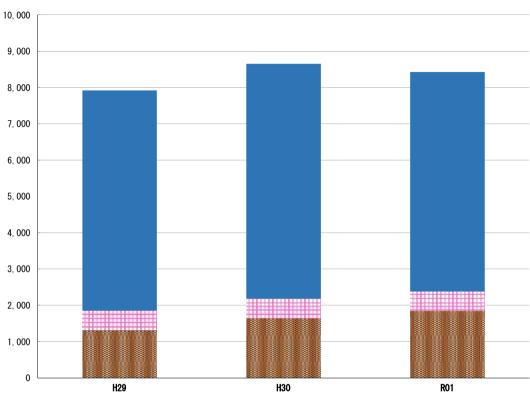
令和元年度は、昨年度に引き続き、将来負担額に対して、充当可能財源等が上回り、算定上の分子がマイナスとなったため、算定されないこととなった。

これは、公共施設等整備基金の取崩し等「充当可能基金」が約228百万円減少しているものの、将来負担額の地方債現在高が190百万円の減、同じく簡易水道事業、農業集落排水事業の公営企業債等繰入見込み額が86百万円の減となっていることが主な要因である。

[※]令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(市町村)

(百万円)



				(百万円)
区分	年度	H29	H30	R01
	財政調整基金	1, 312	1, 642	1, 843
	減債基金	537	537	537
	その他特定目的基金	6, 072	6, 473	6, 045
	帰還環境整備交付金基金	2, 353	3, 377	3, 259
	陽はまた昇る基金	1, 088	623	476
	農村楽園基金	470	427	425
	公共施設等整備基金	979	561	408
	広域的減容化施設影響緩和基金	400	400	400
	基金残高合計	7, 921	8, 652	8, 425

令和元年度

福島県飯舘村

基金全体

(増減理由)

令和元年度の基金残高は、基金全体で見ると前年度より約2億3千万円減の約84億3千万円となっている。

これは、財政調整基金が約2億円、北風と太陽基金が約4千万円増加した反面、公共施設等整備基金1億5千万円、までいの村陽はまた昇る基金約1億5千万円、帰還環境整備交付金基金1億1千万円等が減少したことによるものである。

(今後の方針)

前年度に引き続き、復旧・復興事業に伴う福島再生加速化交付金を財源とした帰還環境整備交付金基金等への積立は増加すると考えられる。

復旧・復興事業のハード事業は次第に減少していく見込みであるため、今後はこの復興期間に建てられた施設の維持管理経費が以 前より高い水準で推移することが予想される。より計画的な基金の取崩し及び積立てをするためにも、財源確保が課題となる。

財政調整基金

(増減理由

令和元年度の基金残高は約18億4千万円で、前年度と比較して約2億円の増となった。

主に決算剰余金の増である。

(今後の方針)

東日本大震災や原子力発電所事故に伴い復旧・復興事業などにより財政需要は増加している状況である。

今後も復旧・復興事業を進める中で想定外の費用が発生することも予想されることから、中長期的には減少していく見込みである。

滅債基金

(増減理由

令和元年度末の積立金現在高は約5億4千万円で、積立及び取崩がなかったことから前年度末と比べ大きな増減はなかった。

(今後の方針)

地方債の償還計画を踏まえ、計画的に取崩しを行う予定である。

その他特定目的基金

(基金の使涂

帰還環境整備交付金基金:福島復興再生特別措置法第34条第1項に規定する帰還環境整備交付金事業等に要する経費の財源 陽はまた昇る基金:東日本大震災による原発事故災害からの復興に向けて、村民の生活再建のための営農再開や企業の事業再開、 教育や福祉の充実等を図る

農村楽園基金:地域資源等を活用した独創的な地域活性化事業を推進し、魅力と特色ある農村楽園を創造する事業 公共施設等整備基金:飯舘村公共施設及び設備の整備

広域的変容化施設影響緩和基金:原子力発電所事故並びに広域的減容化施設の立地による影響の緩和

(増減理由

帰還環境整備交付金基金:農業用用排水路整備工事、ため池放射線対策工事等事業の取崩により減少 陽はまた昇る基金:復興復旧事業等への取崩しに伴い減少

公共施設等整備基金:復興復旧事業等公共施設の整備に伴い減少

(今後の方針)

復旧・復興や原子力災害への対応のため、基金の積立額は大幅に増減することが予想される。

また、事業完了となり次第、復興・復旧に係る各基金は廃止していく方向である。

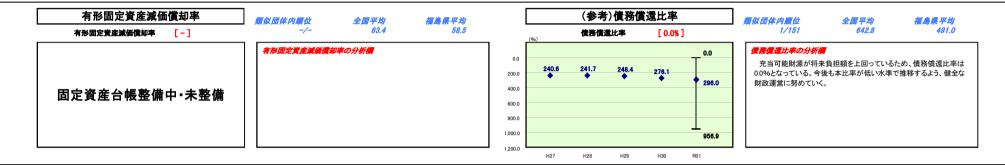
(12)市町村公会計指標分析/財政指標組合せ分析表

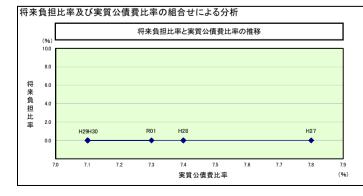
令和元年度

福島県飯舘村

5,467 人(R2.1.1現在) 実 賞 赤 字 比 率 うち日本人 5, 420 人(R2.1.1現在) 连结实置赤字比率 96 230. 13 kmi 実 質 公 債 費 比 率 6.0 96 入 14, 002, 696 千円 来負担比率 出 総 11,921,081 千円 類 型 H27 I — O H28 I — O H29 I — O 曹 収 支 764, 538 千円) H30 I — O R01 I - O 2, 689, 451 千円 3,555,483 千円 地方債現在高

- ◆ 当該団体値
 ◆ 類似団体内平均値
 ▼ 類似団体内の
 最大値及び最小値
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。





・将来負担比率、実質公債費比率ともに類似団体と比較して低い水準である。実質公債費比率についてはH28年度からH29年度にかけて0.3ポイント減少しているが、これはH14年度に老人福祉施設建設 に際して発行した地方債4.9億円やH17年度に村道整備に際して発行した地方債0.4億円の償還が終了したことによるものである。今後も本比率が低い水準で推移するよう、計画的な地方債の発行に努めていく。

(参考)						
		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	_	-
	実質公債費比率	6.6	6.4	6.1	5.9	6.0
類似団体内平均値	将来負担比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
規以四件內干均順	実質公債費比率	7.8	7.4	7.1	7.1	7.3



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

固定資産台帳整備中‧未整備



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

固定資産台帳整備中‧未整備